

都市再生整備計画 事後評価シート  
鵜沼駅東部第二地区

平成28年3月

岐阜県各務原市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	各務原市		地区名	鵜沼駅東部第二地区			面積	58.8ha			
交付期間	平成23年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	178百万円	国費率	0.4					
大目標：交通利便性と良好な自然環境・景観をもち合わせた魅力あるまちづくり 目標1：道路網整備による生活環境の向上 目標2：防災環境の整備と防災対策の充実 目標3：景観を活用した住みよいまちづくり	当初計画に位置づけ、実施した事業		<b>事業名</b> 基幹事業 道路(市道鶴294号線)、道路(市道鶴303号線)、公園(宝積寺南2号公園)、公園(宝積寺南4号公園) 提案事業 地域創造支援事業(宝積寺西樋管)、事業活用調査(事業効果分析調査)、まちづくり活動推進事業(景観計画策定)											
	当初計画から削除した事業		<b>事業名</b> 公園(宝積寺南1号公園)、公園(宝積寺南3号公園)			<b>削除/追加の理由</b> 公園は関連事業にて整備することに変更			<b>削除/追加による目標、指標、数値目標への影響</b> 影響なし。					
	新たに追加した事業		<b>基幹事業</b> 公園(宝積寺南4号公園)			<b>高質空間形成施設 照明</b> (鵜沼駅東部第二土地区画整理地内)			<b>住環境を向上させ、安心・安全を実現するコミュニケーション育成の場を確保するために整備を実施</b>			<b>影響なし。</b>		
			<b>提案事業</b> 地域創造支援事業(宝積寺西樋管)			<b>宅地開発に伴い、未整備の樋管を追加</b>			<b>影響なし。</b>					
			<b>事業活用調査(事業効果分析調査)</b>			<b>各評価項目の計測又は確認を行い、事後評価が円滑かつ確実に進められるよう追加</b>			<b>影響なし。</b>					
	交付期間の変更		当初	平成23年度～平成27年度		変更		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
変更		なし	なし		-									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
							モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	定住人口	人	570	H22	698	H27	-	1,158	○	あり なし	土地区画整理事業による宅地分譲が人口増の直接的な要因であり、駅に近接した立地や、木曾川の自然豊かな景観を有することなど、住環境の優れた地区であることも間接的な効果を及ぼしている。	-	
	指標2	歩行者・自転車通行量	人	0	H22	100	H27	-	102	○	あり なし	道路整備により、駅や幹線道路等へのアクセス機能向上が図られ、地区内の交通の速度抑制対策を講じたことにより、生活道路として歩行者が安全・安心して歩ける歩行空間が確保された。	-	
	指標3	公園までの徒歩5分圏内区域率	%	50.4	H22	100	H27	-	100	○	あり なし	歩行者が安全に避難できる道路整備とともに、災害時に一時的な避難ができる公園整備により、地域の防災力の向上に寄与した。	-	
指標4	景観計画協力率	%	100	H22	100	H27	-	100	○	あり なし	住民説明会やホームページ・広報等を通じて、良好な景観の保全・再生を図り、魅力あるまちづくりを推進する取り組みにより、住民の自主的な景観形成への協力と理解が得られた。	-		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
							モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
その他の数値指標4														
4)定性的な効果発現状況	○地区内にできた2号公園はいつも多くの方の利用がみられ、地区外からも遊びにくる親子もいるとの声がある。 ○景観形成に関しては、住民説明会やホームページ・広報等を通じて、良好な景観の保全・再生を図り、魅力あるまちづくりを推進する取り組みにより、住民の自主的な協力と理解が得られた。													
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス		○景観計画(重点風景地区)「木曾川河畔上流地区」風景形成基準策定に関して緑豊かで良好な住環境の創出を図るため、木曾川河畔上流地域において、住民参加による景観法に基づく地区独自の景観形成に取り組んだ。 H23年5月景観計画決定に関する説明会 H23年10月景観計画決定に関する意見聴衆、景観計画決定案の縦覧 H23年11月各務原市景観審議会 意見聴衆、各務原市都市計画審議会 H24年1月景観計画決定・施行				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○			
	持続的なまちづくり体制の構築		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

## 様式2-2 地区の概要

鵜沼駅東部第二地区(岐阜県各務原市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 交通利便性と良好な自然環境・景観をもち合わせた魅力あるまちづくり 目標1: 国道21号線と駅方面へのアクセス道路の交通機能強化を行い、良好な宅地利用を促進し、人口の定着を図る。 目標2: 歩行者に安全な道路の整備、緑豊かな公園を整備し、災害時にも安心なまちづくりを行う。 目標3: 木曾川沿岸の景観と調和及び、住環境に配慮した住みよいまちづくりを行う。		定住人口	単位:人	570	H22	698	H27	1,158	H27
		歩行者・自転車通行量	単位:人	0	H22	100	H27	102	H27
		公園までの徒歩5分圏内区域率	単位:%	50.4	H22	100	H27	100	H27
		景観計画協力率	単位:%	100	H22	100	H27	100	H27
<b>&lt;道路&gt;</b>  市道鵜294号線 L=38m      市道鵜303号線 L=264m		 凡例 ■ 基幹事業 □ 提案事業 ○ 関連事業		<b>&lt;関連事業&gt;</b>  国道交差点新設 鵜沼駅東部第二土地区画整理事業 木曾川河川改修事業L=1000m					
<b>&lt;公園&gt;</b>  宝積寺南2号公園 A=1,988㎡ 宝積寺南4号公園 A=4,626㎡				<b>&lt;提案事業 地域創造支援事業&gt;</b> 					
宝積寺南2号公園 A=1,988㎡ 宝積寺南4号公園 A=4,626㎡				宝積寺南2号公園 A=1,988㎡ 宝積寺南4号公園 A=4,626㎡					
宝積寺南2号公園 A=1,988㎡ 宝積寺南4号公園 A=4,626㎡				宝積寺南2号公園 A=1,988㎡ 宝積寺南4号公園 A=4,626㎡					
<b>まちの課題の変化</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○達成されたこと</li> <li>・駅や主要幹線道路へ接続した道路整備により、アクセス利便性が向上した。</li> <li>・地区内の交通の速度抑制対策を講じた道路整備により、歩行者が安全・安心して歩ける空間が確保された。</li> <li>・歩行者が安全に避難できる道路整備とともに、災害時に一時的な避難ができる公園整備により、一定の防災機能が確保された。</li> <li>・当地区は平成23年12月から市景観計画重点風景地区の「木曾川河畔上流地区」に指定され、建築物等のルールによる木曾川等の自然的な眺望景観の保全に向けた取り組みが始まった。</li> <li>・木曾川の眺めを楽しめる遊歩道など、地区の特性を活かした公園が整備され、地域住民にとって身近に利用でき、景観を楽しめる場が形成された。</li> <li>・約10haの工場跡地が宅地化され、住宅地の土地利用が増進したことから、県外からの転入者が多く、人口増による地域生活の活性化が図られた。</li> <li>●残された未解決な課題および新たな課題</li> <li>・地区内の交通の抑制対策を講じているが、引き続き関係機関と連携し、交通対策を講じていく必要がある。</li> <li>・地域の防犯・防災意識を高めるために、地域コミュニティによる具体的な「共助」の体制の構築を支援する必要がある。</li> <li>・木曾川、犬山城等の優れた景観を活かしたまちづくりが求められている。</li> <li>・このエリアでの世帯数増加に伴い校区全体の児童数が増加する可能性もあることから、必要に応じて小学校の教室を確保する等の対応が想定される。</li> </ul>							
<b>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の安全・安心で住みよい住環境を守るため、地区内の交通安全確保に取り組む。</li> <li>・災害に強いまちづくりを推進するため、地区全体で防災対策を推進する。</li> <li>・地域コミュニティによる具体的な「共助」の体制の構築を支援する。</li> <li>・木曾川、犬山城を望める景観に優れた地区であるため、景観保全と景観と調和したまちづくりを行っていく。</li> <li>・自然環境と共存する都市基盤整備を維持し、防犯・防災にも配慮した安全・安心に暮らせる、住みやすいまちづくりを目指す。</li> </ul>							